

たんぽぽだより

日本共産党川西市議会議員 **黒田みち**

市会議員団控え室 TEL 740-1111 (内線4020)
直通FAX 759-1811
黒田みち事務所 TEL 795-4760



高齢者の交通費助成に関する請願が、6日(水)の厚生経済常任委員会でもうやく採択されました。2005年3月議会に年金者組合から署名も添えて提出されて以降、6回も「継続審査」になっていきましたが、ついに市民の熱意が議会を動かしました。

黒田みちは「近隣市町で助成制度ゼロは川西市だけ」などの事実を提起しながら請願を支持し、採択実現に最初から最後まで一貫してがんばってきました。

過去6回の議会審査では「交通費助成制度は、休止することなく継続してください」という年金者組合の請願に、「継続審査」を主張して

交通費助成の市民請願やつと採択

厚生経済委員会

いた委員が、7回目の審査でも、理屈にならない口実をつけて「継続」に。可否同数のため委員長権限で継続・廃案(審議未了扱い)になりました。

新たに提出された「高齢者交通費助成制度に伴う予算措置を実現して下さい」という請願は、委員全員で採択されました。

黒田みちは両請願ともに採択(賛成)しました。

経過はどうであれ、市民の要求にこたえて高齢者交通費助成制度の復活に道がひらけたことは歓迎すべきことです。

これから、どのように復活させていくのか、行政が具体化します。ぜひ、市民の声をもっと大きくし、高齢者交通費助成制度の目的を実現させましょう。

(裏面に関連記事)



今期最後の本会議
一般質問中



審査7回、市民の熱意議会動かす

市は早急に制度復活を

これまで無料だった0歳児医療費が、有料化されたのを受け、6月議会に新日本婦人の会が請願を提出、継続扱いになっていました。9月議会には、同趣旨の請願が別途提出され、0歳児から小学生までの医療費無料化を求める二つの請願が、6日の厚生経済委員会では全会一致で採択されました。



6月議会では、黒田みちが、一般質問で提案。その調査結果を明らかにしながら、

①小学校入学前の全員を対象にしても予算は年間、約7300万円②0歳児だと約2000万円③阪神間で助成のないのは川西市だけ、と採択を主張しました。採択に賛成した委員は、土田、北上委員。他は「0歳児の方があまり病気をしない」などと倉谷委員が「継続」を主張。可否同数、委員長(宮路氏)裁決で、「継続審査」となっていたものです。

安心の子育て、応援したいですね。

乳幼児・児童の医療費無料化の請願採択

障害者自立支援法

「食費負担の軽減」回答

今春スタートの障害者自立支援法では、「応益負担・原則1割」が導入。作業所で働く工賃が1ヶ月平均1万円ほどなのに、作業所利用料(1日510円)や食費(1回650円)の負担がはじまりました。「働いて赤字がでるのは、かなわない。」という方達が、作業所をやめる事態が川西市でも起こり、障害をもった方や家族から大きな不安の声がでています。

ちよつと一息

9月になって、急に秋めいりしてきました。虫の音が響きまじりました。虫の音が響きまじりました。虫の音が響きまじりました。

アンケートにたくさんのお返事が届きました。昨年の上昇率は、約3億2千万円。増税に対する怒りの声は、本料の値上げが半分残った。増税に反対する声は、本料の値上げが半分残った。増税に反対する声は、本料の値上げが半分残った。

「税金はどこに使われているの?」子育て中の方、若い方からの疑問の声。議員には、「税金のムダ使いをやめさせて」「不正のチェックをして」とたくさんの方々が声を上げています。議員には、「税金のムダ使いをやめさせて」「不正のチェックをして」とたくさんの方々が声を上げています。

議員には、「税金のムダ使いをやめさせて」「不正のチェックをして」とたくさんの方々が声を上げています。議員には、「税金のムダ使いをやめさせて」「不正のチェックをして」とたくさんの方々が声を上げています。

高齢者交通費助成制度請願への態度経過

高齢者交通費助成請願

ずっと請願採択に一貫して努力してきたのは日本共産党です

	共産党	智政会	公明党	連合市民	自由・新生	自治市民	請願者
2005年3月	採択	継続	継続	継続	継続	継続	年金者組合
2005年6月	採択	継続	継続	継続	継続	継続	年金者組合
2005年9月	採択	継続	継続	継続	継続	継続	年金者組合
2005年12月	採択	継続	継続	継続	継続	継続	年金者組合
2006年3月	採択	継続	継続	継続	採択	採択	年金者組合
2005年6月	採択	継続	継続	採択	一部	採択	年金者組合
2006年9月	採択	継続	継続	採択	継続	採択	年金者組合
	採択	採択	採択	採択	採択	採択	市民



05年6月、9月議会の年金者組合請願への態度

採択:黒田美智、土田 忠、北上哲仁

継続:宮路尊士、山口嘉和、角谷悠子、倉谷八千子

高齢者交通費助成請願採択までの道のり・・・

「勉強させて・・・」

この請願が初めて審査されたのは、2005年(平成17年)3月の厚生経済委員会。黒田みちが「採択に賛成」の討論の後、安田末廣委員は「請願趣旨は確かに理解できます(が)、いろんな問題点がある。もっと勉強したい」と発言。中礼委員は「行政の方からもいろいろ意見も聴取したいし、勉強もしていきたい」。志水委員は「コミュニティバス等を導入しながら、もう一遍勉強させていただきたい」。向井委員は「コミュニティバスが今検討されていますので、そちらの方に方向転換していくべきではないか」などの理由から黒田以外は倉谷委員を含め全員「継続審査」に挙手。

以後「継続・継続」

以後、黒田みちは「コミュニティバスに、めどが立ったら、もう一度休止という措置も考えればいいが、実際は、まったく進んでいない(昨年9月)」、「3月のバス運行検討委員会で、終了の結論が出た(今年3月)など、毎回の審査で採択を強く主張しました。



しかし、他の委員はコミュニティバスの計画について「暗黙に乗り上げている(昨年9月、安田委員ほか)」「いい方向が出てこない(山口委員、同12月)などと認めながら、「まだもう少しと研究の余地があるの違うかなと(同)などと「継続審査」に。

議会の自主的機能は？

さらに、今年3月でコミュニティバスの検討委員会が終了した後も「市長の前向きな答弁もあり、・・・、何らかの方策が出てくると思いますので(角谷委員)と、議員、議会としての自主性を欠いた発言をしていました。

そして、6度目の今年6月議会で黒田みち以外では、はじめて土田、北上両委員が採択に賛成。可否同数となりましたが、宮路委員長が、「継続」としていました。

ぜひ、みなさん。議会へおいでください。議事録をご覧ください。

市政アンケートに多数のご協力ありがとうございました。

生活が苦しくなった、増税反対の切実な声、声

○医療費がアップしたから少々の病気では病院にいけなくなった。

○小学校の体育館を借りて活動しているが、トイレトーパー持参とか、掃除用モップも何年も洗ってもらえない。教育現場へのしわよせがひどすぎる。

○憲法9条は絶対堅持しなければなりません。二度と戦争をさせないために

○これから先の若者の老後は、年金や介護保険は大丈夫でしょうか

○福祉医療費や高齢者交通費助成は元にもどして。

○こどもの医療費をなんとか無料にしてほしい。うちはアレルギーの子がいて医療費負担が大変です。

○高齢者交通費助成はもとにもどして、約束がちがう。

○能勢電車が高すぎる。高齢者割引をぜひ。外出をひかえてしまうようになりました。

○消費税や住宅ローンの金利が上がりそうなのに、給料は上らず将来が不安です。

○今20代だが、いくら年金払っても将来返ってこない可能性が高いと思うと腹がたつ。

○能勢電車は日生から川西能勢口まで10.8kmで310円。阪急は川西能勢口から三宮まで4.7kmで310円。阪急箕面線、阪急今津線と能勢電は事務も保険も同じ条件とシステムなのにおかしい。

